

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

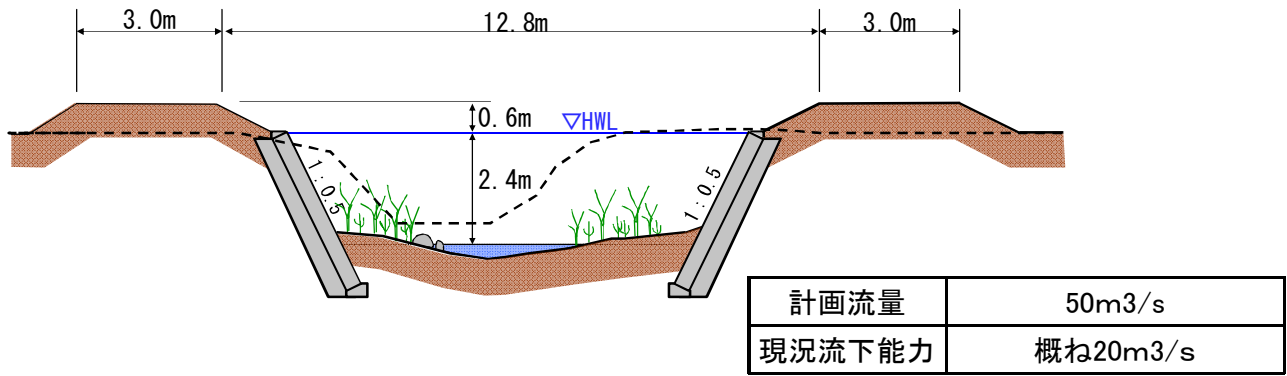
		番 号	110	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>むなせがわ</small> 武名瀬川		事業箇所名	<small>しもつけし</small> 下野市、 <small>かみのかわまち</small> 上三川町
事業区間	<small>しもつけしやじつか</small> 下野市谷地賀地先～ <small>かみのかわまちかみがもう</small> 上三川町上蒲生地先		事業延長	6,500m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成11年度工事着手
事業期間	(H9～H38) H9～H38	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[14.0(14.0)億円] 61.3(61.3)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[6.1億円] 21.1億円
事業概要				
<p>武名瀬川は、宇都宮市下栗町地先に源を発し、宇都宮市南部の農地を流下し、上三川町を経て、下野市で田川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
・計画区間上流では、宅地化が進んでいる。				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体	B/C=6.4	412.4億円	64.4億円	[L=6,500m 区間]
(2) 残事業	B/C=8.5	307.7億円	36.3億円	[L=4,400m 区間]
2 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
事業延長6,500mのうち、下流端から新4号国道下流地点までの約2,100mの整備が完了している。				
2 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図っている。				
2 代替案立案等の可能性				
計画区間の上流部は、市街地で人家が連担しており、遊水地等の適地がないことなどから、現計画が妥当である。				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

